

深い「学び」につながる 小学校英語

青山学院大学
アレン玉井光江

上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2016

Lev S. Vygotsky (1896-1956)

Beyond reach
at present

Child's current
achievement

学びが起こる場所

ZPD

最近接発達の領域
次に続く発達の領域

Lev S. Vygotsky (1896-1956)

社会的な交わり
Zone of Proximal
Development

一人で問題解決が
できるレベル

助けを得て解決できるレベル

- 一人一人のZPDは異なる。
- 能力測定はZPDで行う。

Scaffolding 足場づくり (Bruner, '83)

Word Generation Project



Catherine Snow

Harvard Graduate School of Education

アメリカではEARLY LITERACYについては一応研究のめどもつき、実践結果も伸びている。一方中学校でのリタラシー教育が十分でなく、そのため教科学習が停滞している。そのような中、Word Generation Project は Boston Public School からの依頼を受けて現場の教師とともに始めたプロジェクトである。

上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2016

学習に背を向けていた生徒に何が起きたのだろうか？

学習者が本気で話し合いたくなる
トピック



ジレンマを感じるトピック

- What is the purpose of school?
- When should someone be considered an adult?
- What makes an American?
- Are after-school jobs helpful or harmful for middle and high school students?
- Should there be amnesty for undocumented immigrants?
- Who is responsible for childhood obesity?
- When should the U.S. send troops to other countries?
- Should the U.S. have stricter gun regulations?

Learning-Centeredの小学校英語

英語の時間を遊びの時間としないで、他教科同様に「学び」を大切にしたい時間とする」

「**自分の言語学習に責任がもてる学習者**」を育成する。

1. 意味のある文脈の中での英語教育

2. 音声を十分に育てながらの文字教育統合

学びを支えるカリキュラムの特徴

1. 学級担任と専科教員との機能的なチーム・ティーチング
2. フレームワークとルーティン活動
3. システムティックなリタラシー指導
4. 意味のある文脈はストーリーから
5. 英語で学校生活や他教科のことを学ぶ